

物件管理と物件選択の違いについて

文書管理番号：1113-02

Q. 質問


「物件管理」と「物件選択」はどのような違いがあるのか。


A. 回答

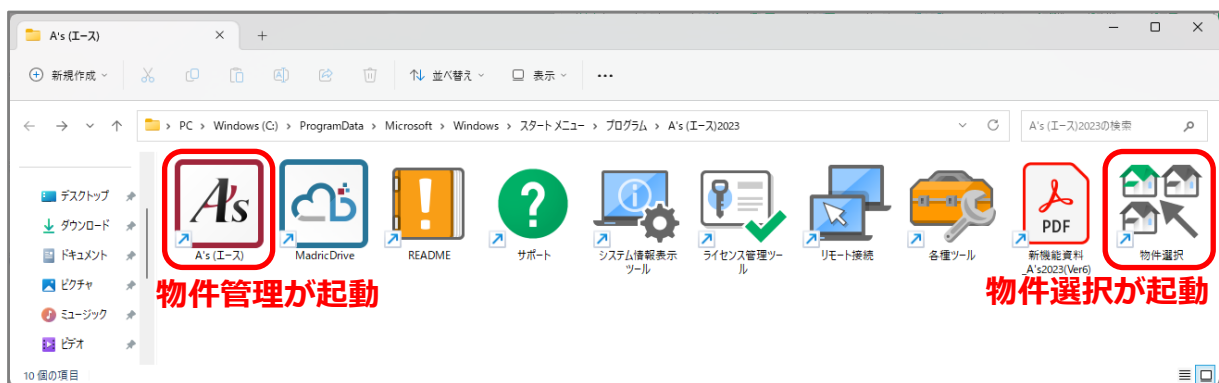
A's(エース)で作成した物件データを保存・管理する方法として、「物件管理」「物件選択」「Madric Drive」の3つの方法があります。

物件管理と物件選択は、物件データをローカルディスクに保存・管理します。Madric Drive は、物件データをクラウドで保存・管理し、複数のパソコンで物件データを共有できます。

ここでは、物件管理と物件選択について説明します。

物件管理を使用する場合は、 (A's (エース)) のショートカットアイコンから起動します。

物件選択を使用する場合は、 (物件選択) のショートカットアイコンから起動します。




【参考】 Madric Drive

Madric Drive はオプション製品です。物件データをクラウドで保存・管理することで、万一の災害発生時でもデータの安全性が保たれ、リスク回避に繋がります。また、A's (エース) を複数名で運用する際、業務の平準化やデータの相互利用など業務プロセスの見直しも期待できます。

Madric Drive については、A's (エース) のマニュアル「Madric Drive 編」をご参照ください。

● 物件管理のポイント

物件管理で A's (エース) を起動すると、次のような物件管理の画面が表示されます。



物件管理では、「顧客」情報を登録し、顧客ごとに関連する物件（プラン）を作成・保存・管理ができます。

- ある顧客への提案プランの経過
- プラン変更の履歴などの管理
- ある特定の 카테고리やグループに分類してプランを保存する

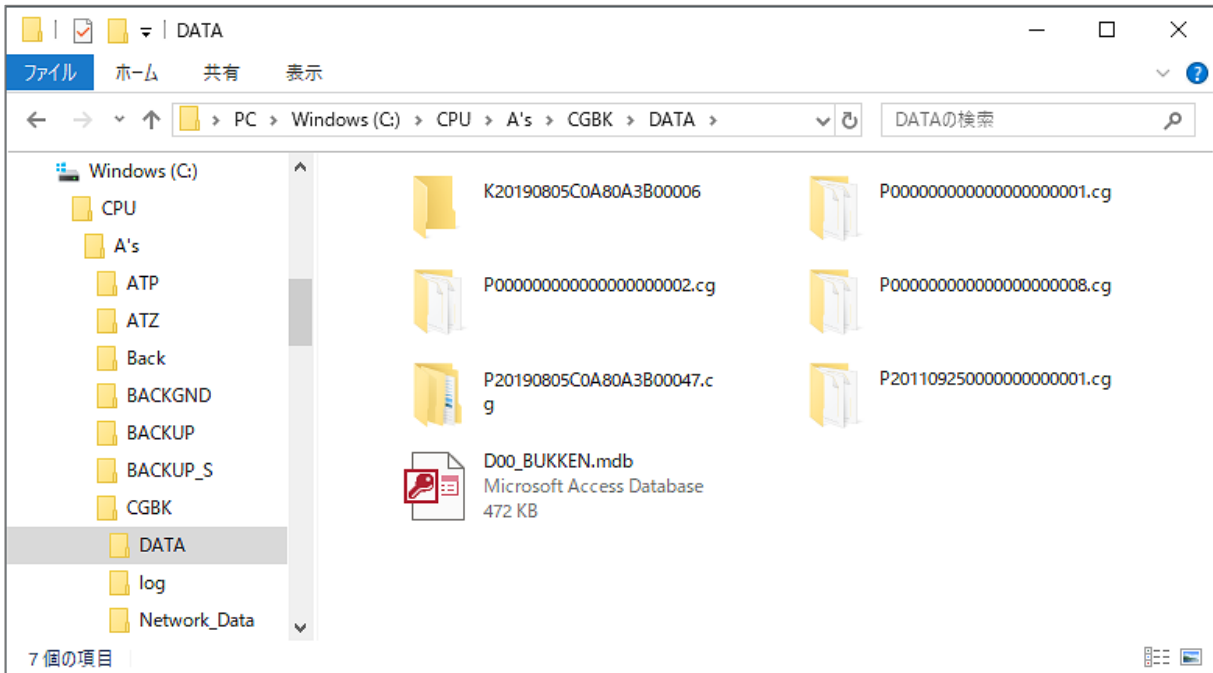
などの使用方法があります。

物件管理のデータは、P.3のようにひとつのデータベース管理ファイル（mdb ファイル）と、各物件（プラン）に該当するフォルダで構成されており、物件（プラン）ごとにデータの保存先フォルダを指定・変更することはできません。

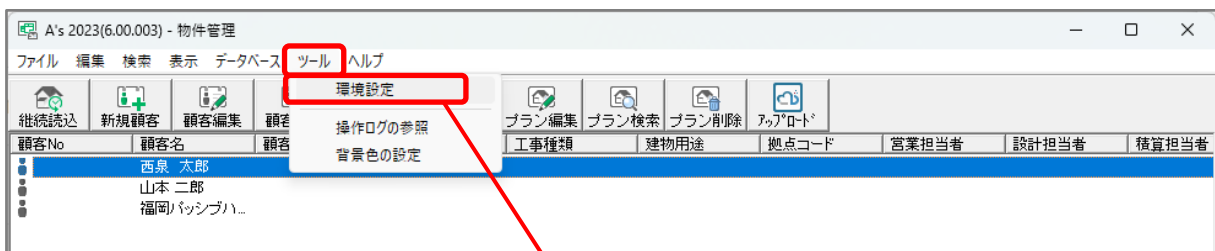
【注意】

各物件（プラン）に該当するフォルダのフォルダ名は、システム側で管理するための専用番号となっています。フォルダ名を変更すると、物件管理に表示されなくなります。

物件管理のデータ（データベースファイルと各物件のフォルダ全体）の保存先は、初期はA's（エース）をインストールしたドライブの「¥CPU¥A's¥CGBK¥DATA」となっています。
 下記は、CドライブにA's（エース）をインストールしている場合です。

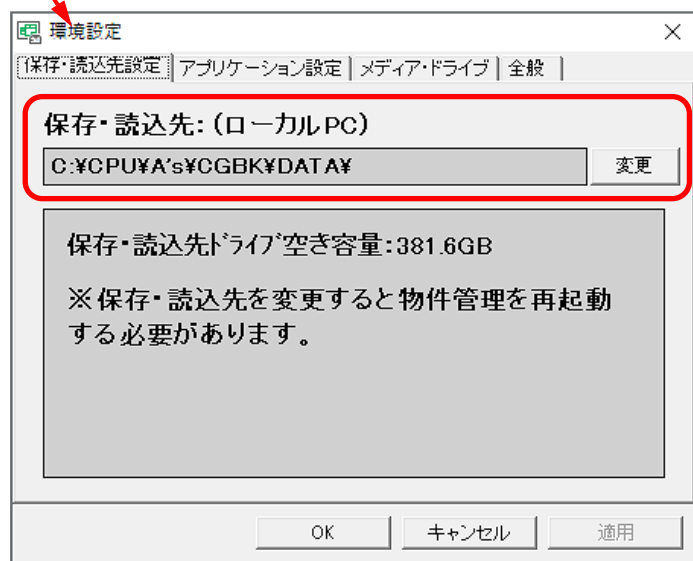


物件管理のデータの保存先は、「ツール」⇒「環境設定」で変更ができます。



例えば、プログラムはCドライブにインストールしていますが、物件管理のデータはDドライブに保存する場合など、インストール先と保存先を別に設定する際に利用してください。

ただし保存先を変更しても、登録済みの顧客・プラン情報はコピーや移行はされません。



【注意】

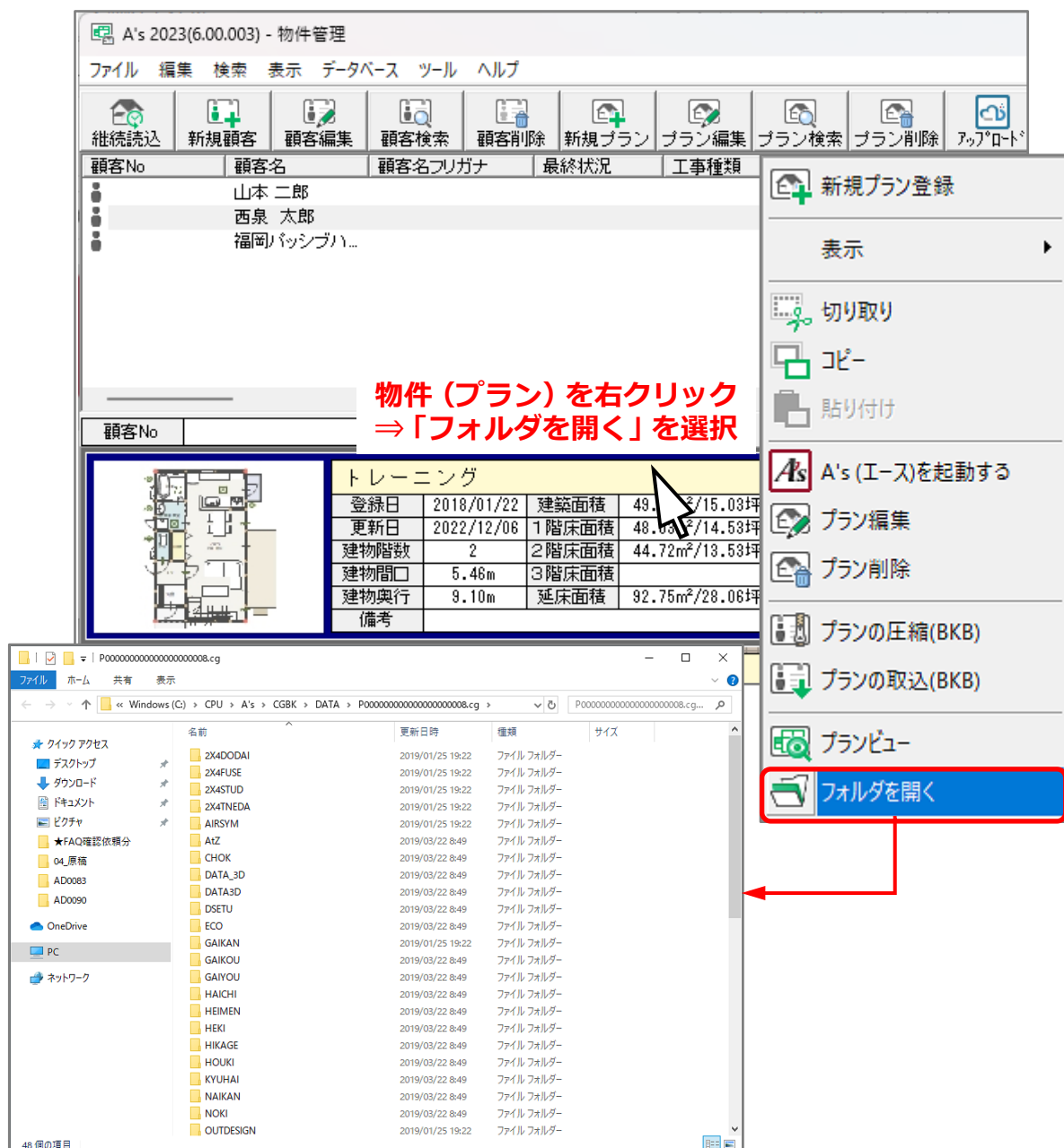
保存先を共有フォルダに設定しても、複数の A's (エース) システムから物件 (プラン) データを共有することはできません。

複数の A's (エース) システムから物件 (プラン) データを共有し一元管理するには、オプションの「Madric Drive」が必要です。

参考

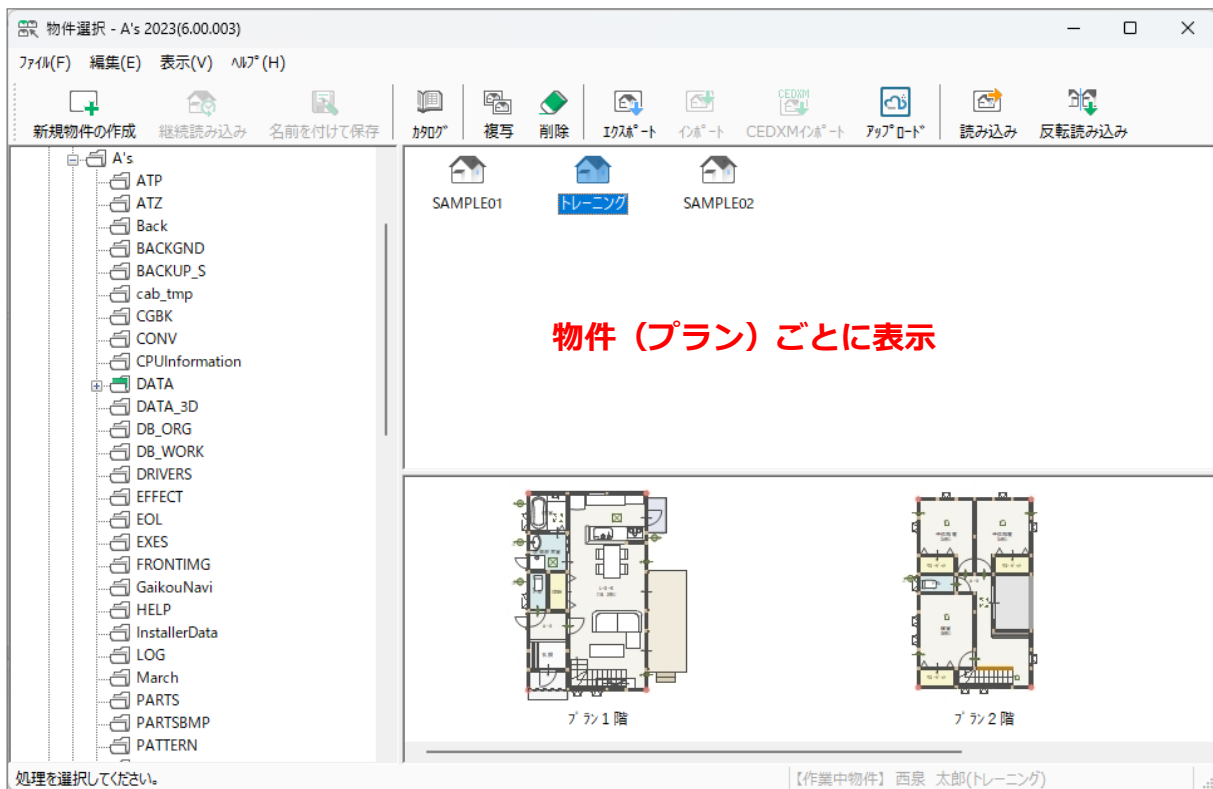
物件管理で物件 (プラン) を右クリック⇒「フォルダを開く」を選択すると、物件 (プラン) データの保存先フォルダを開くことができます。

物件 (プラン) データの保存先フォルダ内のファイルや、フォルダ名の確認ができます。



● 物件選択のポイント

物件選択で A's（エース）を起動すると、次のような物件選択の画面が表示されます。

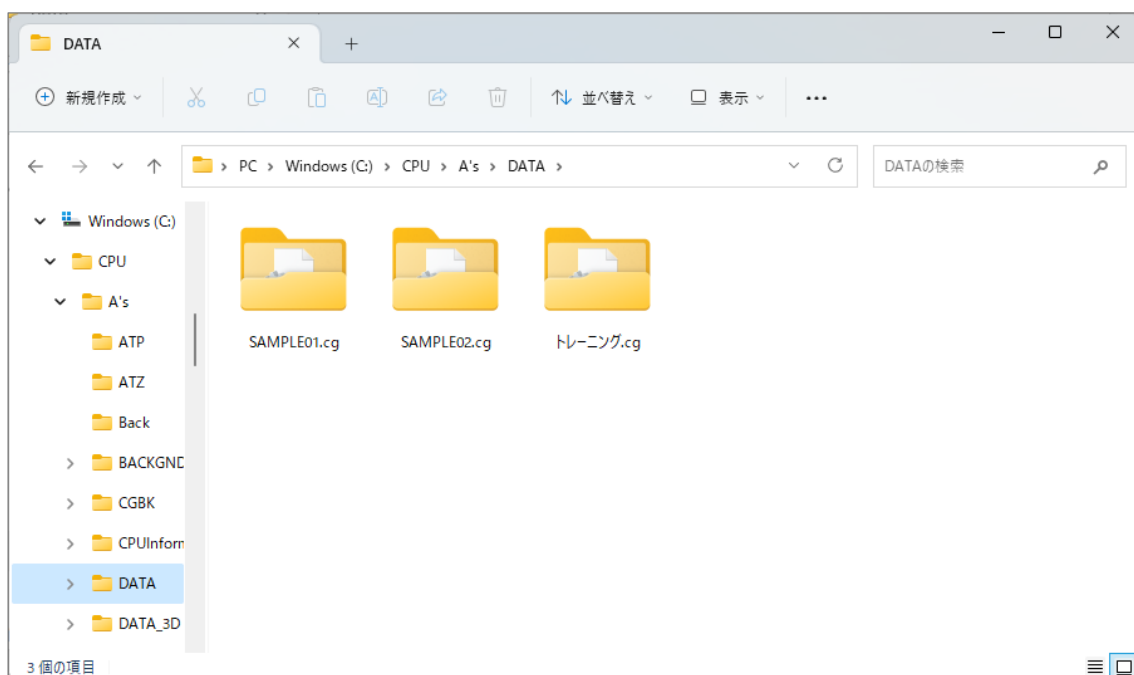


物件選択では、物件（プラン）ごとのフォルダに分かれ、作成・保存・管理しています。

物件保存時に入力した「物件名称」がフォルダ名となり、指定したフォルダに保存されます。

物件データの保存先は保存時に指定できますが、初期参照先は A's（エース）をインストールしたドライブの「¥CPU¥A's¥DATA」です。

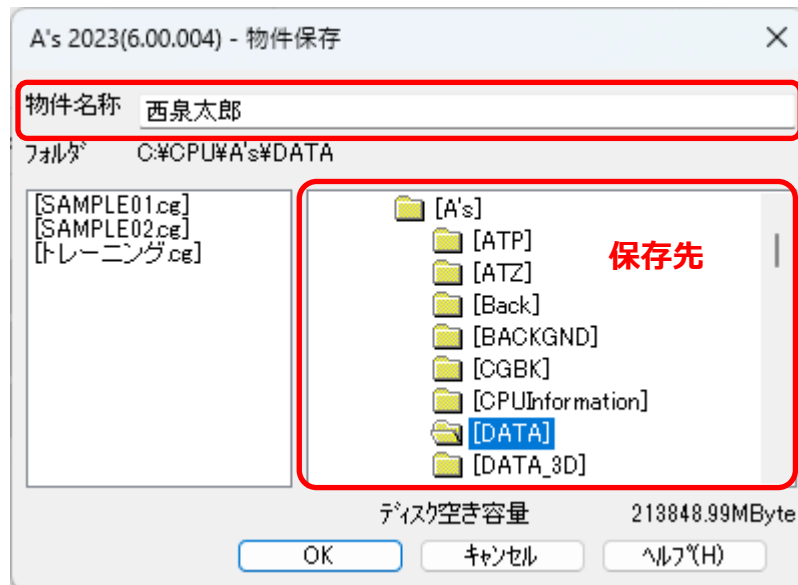
下記は、Cドライブに A's（エース）をインストールしている場合です。



物件選択から作成する場合は、物件名称がフォルダ名となるため、同じフォルダ内に同じ物件名称の物件データを保存しようとする、既存のデータに上書き保存されてしまいます。

既存のデータも残す場合は、保存時に物件名称を変更するか、保存先のフォルダを変更し保存してください。

- * 物件管理のように、保存先の初期参照先を変更することはできません。



【参考】 A's (エース) のインストールフォルダ「C:\CPU\A's」について

A's (エース) をインストールするフォルダの初期設定です。

A's (エース) のインストールドライブを変更している場合は、インストール先のドライブに置き換えてご確認ください。